

一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業（Japan Neurosurgical Database：JND）

2020年1月1日から2025年9月30日までに脳神経外科領域疾患のために入院加療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「一般社団法人日本脳神経外科学会データベース事業（Japan Neurosurgical Database:JND）」という研究を行います。この研究は、2018年1月1日より2023年9月30日までに日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科にて、脳神経外科領域疾患のために入院治療を受けられた患者さんの臨床背景、診断検査、診療内容、転帰を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

（1）研究の概要について

研究課題名：一般社団法人日本脳神経外科データベース事業（Japan Neurosurgical Database: JND）

研究期間：2018年1月1日～2023年9月30日

研究責任者：日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経外科 足立 好司

（2）研究の意義、目的について

日本の脳神経外科領域における手術を含む脳神経外科医療を行っている施設の特徴、医療水準の評価、手術・治療を受けた方の予後、これから手術を受ける方の死亡・合併症の危険性の予測など、専門医の更新要件到達度、専攻医の研修目標到達度脳神経外科専門医制度のあり方に関する基礎資料、医療機器や薬剤などの市場調査、臨床研究、治験などを計画する際の基礎資料を明らかにすることを目的とします。

（3）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2018年1月1日より2023年9月30日までに日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科にて、入院加療を受けられた患者さんの入院経緯、臨床背景、画像検査、治療内容、転帰などを登録・解析し、日本の脳神経外科医療の実態を可視化し、明らかとなった課題に対して実データに基づく改善策の検討や、施設、地域や全国単位での医療の水準を明らかにし、比較することが可能となる。その指標をフィードバックすることにより、脳神経外科医療の質の向上をもたらすことが出来る。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：①施設情報、②患者情報、③主治医情報、④入院情報、⑤退院情報、⑥診療目的、⑦診断検査、⑧内科治療、⑨化学療法、⑩放射線療法、⑪手術対象疾患、⑫手術情報

（4）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

（6）問い合わせ等の連絡先

日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経外科 病院教授 足立 好司

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-396

電話番号：044-733-5181（代表） 内線：3050

メールアドレス：adachi@nms.ac.jp